

今週の外電

れば、目下神戸及長崎に於て建造中の超弩級戰艦「加賀」及「土佐」の二隻は十月末を以て進水式を擧ぐべし、此等は北米の超弩級艦と同數たらしめん爲に建造せられたるものにして其排水量三萬噸、全長七百呎、幅員百呎實に現時世界最大のものなり、而して其機關はギアード式タービン機にして設計速力二十三浬半なり、砲は口径十六吋十門乃至十二門、砲弾の重量一噸、凡て電力にて運轉せらる又日本海軍省はチャルテンハムの飛行機會社に五十臺のニューボート式飛行機の注文を發したり信すべき筋よりの報道に依れば、日本本邦は陸海航空費として特別豫算案を次期議會に提出すべしと

▲北米のパナマ出兵

●北伯灌溉工事

卷之三

伯刺西爾曠原の探險

米國日本北島湖西子譯

第八章 疑の川

(十)

テラドル、ルーズベルト著

人等をして荷物を下方に運搬せしめ

右岸に沿ふて降り、難所たる地峠に

至り、カノアを岸より引ける繩にて

下得へしと決心せる兩氏は、他の

事をして、危機一髪より逃るゝが如

き事亦常事なりとするも余等は慟哭

せざるを得ざりき、然れども哀哭の

爲めに仕事を中止する能はず、直に

荷物輸送に着手せり、其間六百ヤー

ド、川に沿ふて切開き荷物を運搬し

カノアは二名の熟練せる漁夫に依り

美事通過せり、一般は次の泳ぐが如

く降れるが後現はれ出でたり、ケル

ミットは漁夫ジョンと共に三四哩も

今經過したる夫れより専らしく到底

皆なく木の頂にあり空を見る能は

ず、若し見て打ちたりとても混亂せ

る地上に獲物を見出す事至難なり、

然れどもチエリーは四種の新らしさ

採集をなせり、木星として知らるゝ

一行は已に通過せる急流の下に野營

ル下方に當りて、又もやその左岸に

半も進みたる頃、前方に當りて頻り

に叱ゆる聲

半も進みたる頃、前方に當りて頻り

舉げるより早くばかくと二人の娘
髪をさやし附けた。
『その手を食ふ駄馬と思ふか』
ばくとした兵隊靴の底で、一大
の男の顔をべたりと蹴つた。男は坂
を倒すやうに後にばたりと轉んで、
したゞかに頭を床に打ち着けた。他
の一人は床に手を衝いて震へながら
の顔をへなへなと見下す。
『御勘辨なすつて……』
の一人は床に手を衝いて震へながら
の顔をへなへなと見下す。
『御勘辨なすつて……』
の一人は床に手を衝いて震へながら
の顔をへなへなと見下す。
『見せしめの爲めだ、畜生』
倒れたのを引起して、靴の尖端で
頭を二つ三つ蹴つた。二人は同じや
うに悲鳴を揚げた。
『一匹百兩から代物だ、むざく
側に立つてゐた他の監督が船客に
逃げられて溜るかい』
『お嬢が、それはね、御母様の御腹から
共が生れて出た時に、一しょに生れ
て來たので、御産婆さんが、附
け根の近くで切つて、餘りを捨てま
した。そして私共に附いて残つた
ころは、ちよと枯れた木の枝がた
から落ちるやうになつて脱れてしま
ひました。そこでね、いまのやうな
お膣が出来ました——めでたし、め
でたし。
お膣は體の中の御隠居様で、お陰
俐さんですからね、怠け者と言はれ
ても何可譏られても、ちつとも腹も
立てないで、しかも自分の功名譲
せずに黙つてゐます。お膣を馬鹿に
したり、冷かしたり……ちやないひ
したり、弄り物にしたりしてはいけ
ません。ね、皆さん、お膣を大切に
してあげなさいよ。(完)

言ひ譯でもするやうに獨語を言つ
疲勞と折檻にへそくとなつた
人は涙を零して只管に詫び入つた
戸口に倒かさになつて此の光景を
見て居た徳さんは胸が煮へくり返
た。餘りと言へば餘りな亂暴の仕
事である、男の面を轟で踏むとは
事だ、犬だつて此様な取扱には承
を下さい。今に二人は彌り殺しに
ふであらう。血相變へ階段を降
やうとする所へ船員が飛出した。
浪を滑へらしてゐた。陸上の家竝
追々遠ざかつて行く、徳さんはま
たので、彼等は餌物を棄て、葦棚
は這ひ上つた。
徳さんが我に返つた時、船は兩
に白い泡を流して既に港口に向つ
る。花見酒カフェも此所の桜かな
「好い加減にしろ、血でも出され
や此方が迷惑だ」と監督を押し除
て行先を知らないのである。

A detailed black and white illustration of a hand-operated agricultural machine, likely a plow or harrow. It features a wooden frame with a large wheel at the rear and a handle mechanism. A metal blade or share is attached to the front. The machine is shown in profile, facing right.

日本近信

日本の輿論平靜

サントス港ベ一街二七四番

東京大阪諸新聞紙の

Rua B. No. 274 SANTOS

華府會議に對する評論

軍備縮少には何れも賛成意見發表

華府會議に對する評論

田口洋服店

ルア、コンデ、デ、

花の露印油膏

Orvalho de Flor

中山旅館
中 山 忠 太 郎
Est. Heitor Legrui I. Noroeste

柳兄弟商店

聖州衛生局の試験を経て美味且つ滋養に富める優等品候へば是非一度御試用被下度尙今後益々勉強精製致し候間何卒倍舊の御愛顧賜度伏して願上候

米作者募集

Iata Conde de Sarzedas, 69
Tel. Central, 4559 S. Paulo

神田醤油賣

赤堀吟造
中矢商店
Rua Conde de Sarzedas, 65
S. PAULO港旅館
赤堀吟造
Rua B. No. 274 SANTOS
SANTOS PORT B. NO. 274

